



さかわようちえんだより~11月号~

さ:最後までがんばる子 か:感じる心をもった子
わ:わくわくしながらチャレンジする子



令和2年10月30日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 向笠 弘子



冬芝が芽を出し、みずみずしい緑が北園庭のあちこちに見られるようになりました。子どもが元気いっぱい遊ぶと枯れてしまいそうなどとも柔らかい芽ですが、力強くたくましく育っていきます。あの小さな種のどこにそのような力があるのか、生命の不思議さと共に強さを感じます。子どもたちの中にも、日頃の生活を通して、伸びようとする力が沢山蓄えられるようにしていきたいと思います。

11月は、運動会に向かう中で育った友達との関わりを土台に、『もっと楽しくするにはどうしたらよいか。』と、友達と考えを出し合い同じようなイメージをもち遊びを進めていく時期です。それが生活発表会につながります。そのクラスらしさが沢山詰まった生活発表会になるよう、子どもたちの考えや思いを大切にしていきます。温かく見守ってください。



運動会後の子どもたち

生活発表会は年度当初から

運動会が終わり、外遊びには絶好の陽気になった金曜日のこと。好きな遊びをしている時に、黄緑とピンクのカラー帽子が混ざって、20人以上の子どもが一緒に遊んでいました。行っていたのは“逃走中”という鬼ごっこ。ハンター役の鬼と逃げる人に分かれ、つかまると仲間が助けに来てくれるという遊びです。この遊びは、教師が見守る中1時間以上も子どもたちだけで進めていました。その間、仲間を助けることが“ミッション”という言葉で共有されたり、つかまった人がいる場所が1つに決められたりなど、子どもたちが遊び方を考え、共有していく姿が見られました。これは、運動会の時にみんなで作ったバナナ鬼が楽しかったこと、それを体験する中でルールを守って遊ぶ楽しさを味わったこと、運動会を創り上げる過程で工夫したことなどが土台となって出てきた姿だと思われます。行事が日頃の園生活の延長線上にあることで、終わった後このような育ちの姿として表れてきます。年少のさくら組も、4~5人の子どもが集まって運動会の時に使った積み木でコースを作り、そこに車を走らせお店を作るなど形を変えて日頃の遊びとして継続しています。保護者の皆様が、子どもたちの考えを生かし創り上げた運動会を温かく見守ってくださったおかげです。ありがとうございました。

実は生活発表会の活動は、年度当初から始まっています。子どもたちが園生活の中で経験してきたことを保護者の方に見ていただく会です。経験と言っても“〇〇遊び”というように目に見えるものもあれば、“友達と一緒に楽しむ”“力を合わせる”など目に見えないものもあります。今、各クラスでは子どもたちの豊かな発想がキラキラと輝く話し合いや、自分のイメージの実現に向けた製作や、役になりきって表現する姿などが見られます。「金次郎がお姫様を助けるんだよ」、「え！王子様じゃないの？」という親子の会話を耳にしました。お子さんが断片的に伝えることは、不思議なことではいっばいかもしれません。ですが、映画の予告と同じです。様々な予告の言葉を集めて、保護者の皆さんも想像力を膨らませて楽しみにしててください。そのことが、子どもたちのさらなる意欲につながっていくと思います。



ほし組11月のおだわらっ子の約束
ひと はなし き
人の話をきちんと聞きます

さくら組11月のおだわらっ子の約束
やさ こころ なかよ
優しい心で みんなと仲良くします

うみ組11月のおだわらっ子の約束
わる わる い ゆうき
「悪いことは悪い」と言える勇気をもちます